

緑樹

2月号

発行所
清川村立緑中学校
清川村煤ヶ谷 1933
Tel.046-288-1241
ホームページアドレス
<http://www.kiyokawa-edu.jp/sch/midori-jhs/>

先人の教え

「浅瀬でしか泳げない子にするな」

校長 市川美紀子

新年を迎えた喜びも束の間。三年生は進路一色の毎日を送っています。県立高校で言えば、一月末に前期試験を終え、大半の生徒は次なる後期試験に向けて、最後の追い込みをかけています。

そんな先輩たちを横目に、堅実な二年生は七沢での宿泊体験学習のけん引役として、一年生をぐいぐい引張る光景を見せてくれました。その陰に、実行委員長の五本木駿士さんを中心に運営にあたってくれた二年生の心意気が功を奏したことは言うまでもありません。

キャンドルファイアの炎のように、揺らぎない心で臨んだ夜の集い。五目御飯もトン汁も全て平らげた野外炊事では雪が降りしきる中、手を真つ赤にして野菜を刻みましました。そして、感動の一言。

「鍋は僕たち二年生が洗いますから、一年生は食器を洗ってください」
何故、二年生が鍋なのか？薪を使つての調理は鍋が真っ黒になり、これを元に戻すのは至難の業です。集中

緑中学校の子どもたちは、心が澄んでいる分、鏡のように何でも映します。いいものに触れればそれなりに、その逆も然りです。
このようなことも視野に入れ、先日は、学校教育目標の見直しに当たり、保護者の皆様にはご協力をいただいたところでした。大変、ありがとうございました。思うところ、願うところ、ご家庭でも学校でも一致している点、非常に心強く感じております。
目前の平成二十四年度は三年間の移行措置を経て、新しい学習指導要領の下、スタートいたします。そのための教育課程編成も終盤にさしかかってきました。やがて、社会人となる子

どもたちが、自分にとっても他人にとっても善いことを目指していただける人、自他を認めることのできる人、そして、勇気を以て挑戦している人、自分の力で育つことを願い、本校ではその素地を築いていきます。
学校・家庭・地域が、それぞれの目指すところを明確にしてこそ成り立つ三者連携です。本校では、「伝える」「こを目的に、これからの学校便りやホームページでの発信に力を入れますが、やはり伝え合う「対話」に勝るものはありません。子どもたちの健やかな成長のために、皆さんからのご提案やご意見をお待ちしております。感謝



心を込めて書きました！！



新年の決意

平成二十四年一月十一日、恒例の全校書き初め大会を開催いたしました。

全校生徒が体育館に集合し、それぞれの新しい年への意気込みを条幅紙にしたためました。

国語の時間を中心に、個々の生徒が自分の心に響く文言を調べ、選び、冬休みに一生懸命練習し、本番に臨みました。飯巻に装丁した後は全校生徒で書き初めを掲げて記念写真を撮りました。

書き初め大会

その後は学年ごとの廊下にすべてを掲示し、「緑中書き初め展」を開催いたしました。

そんな中でも、特に優れた次の生徒の作品が、入賞いたしました。

(金賞)
細野幸智子さん (三年)
守屋朱菜さん (三年)
川田夏未さん (二年)
阿曾奈緒美さん (二年)

(銀賞)
菊池桃子さん (三年)
落合あすかさん (三年)
大久保亜美さん (三年)
朝倉爽香さん (二年)
岩澤彩佳さん (二年)
伊藤菜々子さん (二年)
細野貴則さん (二年)
大久保亜美さん (二年)

